

旭川商業高等学校 書道部



今年度、新1年生11人と2年生も新たに3人を加えて、只今合計26人で活動中です。女子の多い学校ですが、今年は2年ぶりに男子部員が入部しました。もともと書道室のない学校のため、商業系の部屋を1つ借り、人数が多いため密を避ける意味でも3班に分けて活動しています。そのため、毎日活動はしているのですが、個人では1週間に2～3回しか筆を持つことができません。

部員の中には、全国学生書道展において、全国で唯一の文部科学大臣賞の受賞者や、北海道新聞社主催の北海道書道展で入賞・入選者など、力のある部員も少なくなく、部員一同、書道技術の向上を目指して、日々練習しています。

部活動紹介

今後への想い・希望 部活動状況と コロナ禍における

2年前の高文連全道大会（書道）の当番校が本校で、全道各地から1,200名を超える参加者が一堂に会しました。それまではパフォーマンスでもジャージ姿で行っていましたが、全道大会を機に学校から袴を購入してもらい、パフォーマンスがある時には袴姿で披露できるようになりました。ただ、残念ながら、コロナウイルスの関係で昨年度からパフォーマンスをする機会が皆無となり、せっかくの衣装も着る機会がありませんでした。一刻も早くコロナの状況が収束して、思い通りにパフォーマンスが出来る日が一日でも早くくることを願っています。

意気込み

本事業に対する

今回の旭山動物園主催の書道イベントは、久しぶりのパフォーマンスで、部員は意欲に満ちています。当日の仕上がりも大事ですが、それを仕上げるまでの先輩と後輩の絆や、部員間の協調性を養う意味においては重要な活動だと思っています。この事業を通じて、書道部自体が大きく成長できればと思います。

